

令和7年度東京都南多摩保健所地域医療安全推進分科会 会議要旨		
日時	令和8年2月5日（木曜日）13時30分から15時	
開催方法	WEB	
開催形態	公開（傍聴希望者なし）	
	項目【担当者】	内容【資料】
	開会 【事務局】 1 保健所長挨拶 2 分科会委員紹介等 【事務局】 3 分科会会長選出等 【事務局】 4 議事報告事項（1） 【会長】 【事務局】 【会長】	【次第】 開催目的、主旨について説明。 保健所長の挨拶。 本分科会は、これまで南多摩地域保健医療協議会の健康安全部会と同時開催してきたが、医療の高度専門化や医療ニーズの多様化が進む中で医療安全支援センターの事業をより実効性のあるものとして推進していくために関係機関との課題の共有や実務者間の連携が一層重要であると考え、今年度より単独の開催とした。委員の皆様には忌憚のない御意見をいただき、今後の地域医療安全対策の充実につなげていきたい。 委員あいさつ 資料確認 委員の互選により保健所長を選出 （1）地域医療安全推進分科会の単独開催について【資料4】 （1）について事務局より説明を求める。 （1）について説明。 （1）について質問・意見を求める。 （質問・意見なし）

	<p>4 議事報告事項（2）</p> <p>【会長】</p> <p>【事務局】</p> <p>【会長】</p> <p>4 議事報告事項（3）</p> <p>【会長】</p> <p>【事務局】</p> <p>【会長】</p> <p>【委員】</p> <p>【委員】</p>	<p>（2）令和7年度南多摩保健所医療安全支援センター経過報告【資料5】</p> <p>（2）について事務局より説明を求める。</p> <p>（2）について説明。</p> <p>（2）について質問・意見を求める。</p> <p>（質問・意見なし）</p> <p>（3）相談事例紹介</p> <p>事例1：医療機関紹介を希望する事例</p> <p>事例2：診療拒否の対応を心配する事例</p> <p>事例3：ジェネリックではなく先発薬を希望する事例</p> <p>（3）について事務局より説明を求める。</p> <p>（3）について説明。</p> <p>（3）について質問・意見を求める。</p> <p>・事例2の医師法、歯科医師法に定める応召義務に関して、令和元年の国通知および平成24年の大阪高裁の裁判例がある。患者さんが医療機関の業務を妨害、不当な要求をするなどの事由があった場合であって、さらに診療契約の解除によって患者さんの病状が悪化する場合ではないときには診療拒否することもできると判示している。この事例でも正当な事由が認められる可能性が高いと考えるが、裁判となったときには患者さんの病状、診療が求められたのが診療時間内なのか外なのか、信頼関係が築くことができないのか、この3つの要素がポイントになってくる。</p> <p>・医療関係者は皆、信頼関係が築けないところで応召義務違反だと言われることもあり、対応に苦慮している。証拠として、テープに録音することが一番重要になると思うが、いかがか。</p> <p>・東京高裁が昭和52年に秘密に録音したものの証拠能力について判示しており、録音は重要で</p>
--	---	---

	【委員】	ある。録音できればよいが、出来ない場合にも対応経過をメモしておくもよい。暴力や土下座強要など犯罪行為に当たる場合は警察への連絡も方法の一つである。
	【委員】	・事例3に関しては、薬局では先発薬の制度が変わってしまったので致し方ないということで説明をしているが、理解が難しい方が一定数おり、診療所の先生方も対応に苦慮されていると思う。丁寧に説明をしてご納得いただくしかなく、いろいろやりとりして最終的には後発品で調剤させてもらうことがほとんどにはなっている。どうしても先発薬を強く要求される場合に調剤拒否は出来るのか。
	【委員】	・拒否してしまうと何かまた違う問題が生じたりすることもあるので、そこは国のルールを丁寧に説明してご理解いただくように試みるのが良いと思われる。
	【委員】	・「規則ですから」と言うだけではなかなか患者さんに納得いただけないので、共感を持って話しかけ、最終的に調剤をするようにしている。薬局の待合室に防犯カメラを設置し、クレーム時に一緒に画像を見てもらうなどしたところ、ある程度の抑止力になるようだ。
	【委員】	・ジェネリックの差額の問題に関してはできるだけ診療中に患者さんにはお話をして「こういう制度に変わりました。」「保険制度が変わったので」ということで御理解をいただくようには心がけている。クリニックで何か揉めてるといことはいまのところ感じないが、やはり薬局に行ってから揉めるという患者さんは確かに多いようだ。疑義照会いただいても、それはさっき診察室で話しましたね、ということも結構多い。繰り返し、繰り返しお話をするしかないのかなという感覚は持っている。
	【委員】	・病院でもある一線を越えて、カスハラではないかという状況もこのところ多くなってきてい

<p>資料 特記事項</p>	<p>【配布資料】</p> <p>資料 1 : 南多摩保健所地域医療安全推進分科会委員名簿</p> <p>資料 2 : 地域保健医療協議会設置要綱</p> <p>資料 3 : 東京都医療安全支援事業実施要綱</p> <p>資料 4 : 南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン推進体制</p> <p>資料 5 : 令和 7 年度南多摩保健所医療安全支援センター 経過報告</p> <p>資料 6 : 相談事例</p> <p>参考資料 1 : 令和 6 年度南多摩保健所医療安全支援センター 実績報告</p> <p>参考資料 2 : 令和 7 年度第 1 回東京都医療安全推進協議会資料</p>
--------------------	--